育てよう鏡野のよい子シリーズ

『まわりの人に感謝の気持ちを』

例年になく、早くから大雪に見舞われた昨年の12月6日のことです。午前3時ごろ人形峠付近でスリップ事故が発生し、石越付近は大渋滞になりました。米子道から回ってきた大型トラックが道をふさいで、除雪作業もままなりません。私の車も積もった雪でスリップし、危険この上ありませんでした。やっとの思いで学校に着きました。通学のバスも、遅れて子ども達を運んできました。子ども達はいつもと同じ明るい顔でバスを降りてきました。

子ども達と朝の挨拶を交わしながら私は、この雪のサーフィン状態が毎日続くのかと、少し暗い気持ちになりました。しかし、帰りの道は同じ道とは思えないほど安心・安全に運転できました。昼のうちに、担当の人が国道の除雪をしてくださったのでした。

雪が降るのが当たり前の上齋原です。今季は早くから、しかも本当によく降ります。でも、12月6日のようなことは今はもうありません。凍結していたり、圧雪であったりはしますが、スピードに気をつけて運転すれば、十分安全に学校に来ることができます。このことは、とてもありがたいことだということを、私は言葉だけではなく、強く実感したのです。

二学期の終業式のときに、校長先生が子ども達にお話をしました。「道路の雪をかく人が、何時からかいているのか。トロリンバスを時刻どおりに、しかも安全に運行することがどれだけ大変なことか。みなさんは、そのことを考えなければなりません。バスに乗るまでや、バスを降りてからの自分たちのことを心配する家族のことを考えなければなりません。そして、自分が多くの人に支えられて学校に来ることができていることに感謝しなければなりません。」と。

子ども達は、真剣な面持ちで話を聞いていました。私も同感とうなずきながら聞いたのでした。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会
上齋原小学校　種延　茂

のびのびひろば

どんどをしたよ

郷幼稚園

1月13日、郷地区の老人会との交流会で、お年寄りと一緒に作ったお飾りを焼きました。書初めが空高くのぼっていくと、歓声が上がりました。その後、どんどの火で焼いたするめも食べ、一年健康に過ごせますようにと、顔にお飾りの炭をつけてもらいました。炭をつけるのが面白くて「ひげのようにして。」「ほっぺたがいい。」などリクエストする子、顔につけられるのが嫌で涙が出てしまう子など、いろいろな表情の子どもたち。みんな元気に大きくな～あれ！

うれしいな！新しい遊具

新しい滑り台と雲ていが、もうすぐ完成します。

みんなで大切に使おうね！